

ギター演奏 息合わせ

向日 愛好家ら多彩な曲披露

向日市のクラシックギター二重奏を披露する愛好者（向日市寺戸町、市民会館）



合同発表会でクラシックギターの二重奏を披露する愛好者（向日市寺戸町、市民会館）

会館で開かれ、ギター愛好家の男女4人が、息の合った演奏を披露した。

ソレイユは、同公民館などを拠点に、12人のメンバーがクラシックギターの練習に取り組む。合同発表会は市外のクラブにも声をかけ、毎年開催し、今年で10回目。今年は、ソレイユをはじめ、西京部ギターカルテット（長岡京市）、高槻ギタークラブ（大阪府高槻市）、ゼンリア（奈良市）、ラクリマ（大阪府泉佐野市）など計5クラブと、ソレイユを指導する藤井敬吾さんの教室のメンバーが参加した。

ステージでは、出演者が、独奏や二重奏、クラブごとの音楽など形式を変えながら、クラシックやポップスなど多彩な楽曲をつまびいた。集まった聴衆約

80人が、室内に広がるギターの美しい音色を楽しんだ。

結成15年目を迎えたソレイユの林田孝治代表は、「いろいろな意味で節目の年。11月には記念の演奏会も計画しており、今後もクラシックギターの魅力を伝えていきたい」と話していた。（佐久間卓也）